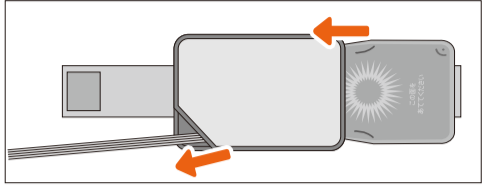


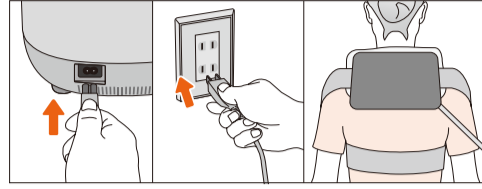
1 超短波導子をセットする

超短波導子をワイドベルト付導子カバーに入れる。ベルトの長さが足りない場合は、付属の装着ベルトを使って長さを調節する。



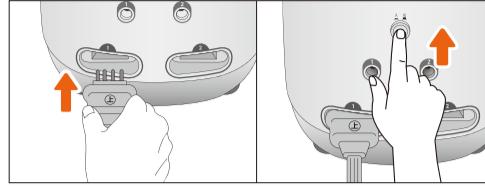
2 プラグを差し込む

電源コードを本体の差込口に差し込み、本体の電源スイッチが切れていることを確認し電源コードのプラグをコンセントへ差し込む。超短波導子を治療する部位にあて固定する。



3 電源を入れ、出力レベルを選択する

超短波導子のプラグを出力口に差し込み、電源スイッチを押して電源を入れる。治療モードスイッチを押して、超短波モードを選択し、超短波出力レベル選択スイッチを押して出力レベルを選択する。



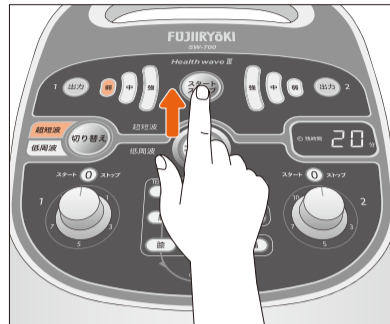
※超短波出力レベル選択スイッチを1回押すごとに、レベル表示が次のように切り替わります。

「弱」→「中」→「強」

4 治療を開始する

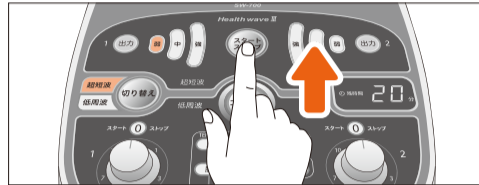
超短波出力開始/停止スイッチを押して、治療を開始。超短波出力レベル表示が点滅から点灯に変わる。治療タイマー(治療時間)は20分に自動設定。

※超短波出力レベルは、治療中でも変更できます。
※超短波導子をCH1のみ使用して治療を行っている場合、超短波出力レベル表示はCH1のみ点灯します。また、途中でもう一方の導子を出力口②に差し込んででも認識されません。



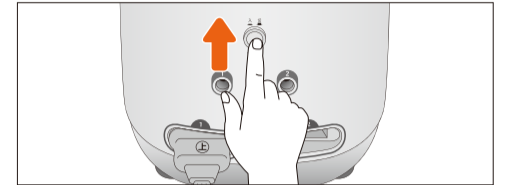
5 治療を中断する場合

治療を中断する場合は、超短波出力開始/停止スイッチを押す。超短波出力レベル表示が点灯から点滅に変わり、出力が停止する。



6 治療の終了

治療が終了すると治療タイマー表示が「0」を表示し、ブザー音が鳴り、出力が自動的に切れる。治療を引き続き行う場合は「出力レベルを選択する」に戻り、終了する場合は、電源スイッチを押して電源を切る。



超短波治療の基本的な使用例

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

<p>首・肩に</p>	<p>腰・背中に</p>	<p>腹部に</p>	<p>手・足に</p>	<p>ひざ・足裏 ふくらはぎに</p>	
<p>首</p> <p>背骨を中心に頸部の裏側へ導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/弱～中 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>		<p>肩</p> <p>肩甲骨の上に導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/中～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>		<p>背中と腰</p> <p>肩甲骨の下と腰部に導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/中～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>	
<p>腹部と背中</p> <p>おへその真上と肘の高さに導子がくるようにあててください。</p> <p>○出力レベル/中～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>		<p>膝</p> <p>膝の裏に導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>		<p>手と足</p> <p>手と足に導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>	
<p>首と腰</p> <p>頸部の裏側と腰に導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/首:弱～中 腰:中～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>		<p>ふくらはぎ</p> <p>ふくらはぎに導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>		<p>足裏</p> <p>足の裏に導子をあててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/20分 ○1日の治療回数/1～2回</p>	

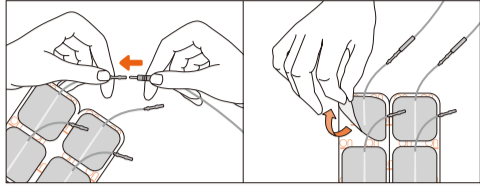
※導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。 ※導子を並べて使用するとき、2つの導子が重ならないようにしてください。

⚠ 超短波導子を使用する際の警告 下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルト、時計、車のキーなどの金属類は体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- 電位治療器(高周波・負荷を含む)などで使用する電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療する時は皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチ等を操作し、治療器が正しく作動するか確認してください。
- 2つの導子を使う場合は、導子を重ね合わせないでください。また、2つの導子コードが絡み合ったり、巻きついたりしないようにしてください。
- 2つの導子で2人を同時に治療しないでください。
- 2つの導子で同じ部位を治療しないでください。
- 導子は必ず装着ベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服やタオルを厚みにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対しないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。

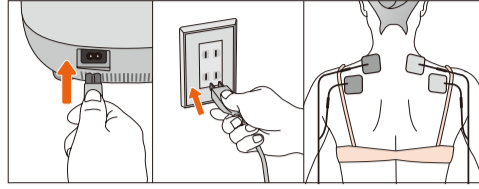
1 粘着パッドをセットする

粘着パッドと接続コードを接続し、フィルムから剥がす。(必ず接続コードの金属部分が見えなくなるよう根元まで差し込む。)



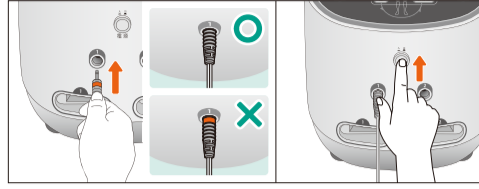
2 プラグを差し込む

電源コードを本体の差込口に差し込む。本体の電源が切れていることを確認し、電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込む。セットした粘着パッドを治療する部位に貼り付ける。



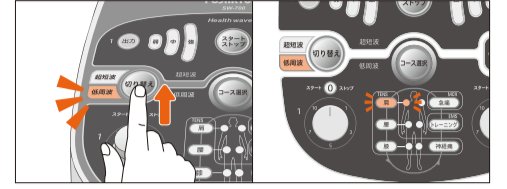
3 電源を入れる

接続コードのプラグを低周波出力口に差し込み、電源スイッチを押して、電源を入れる。
※プラグの青色のラインが見えなくなるまで、奥までしっかりと差し込む。



4 プログラムを選択する

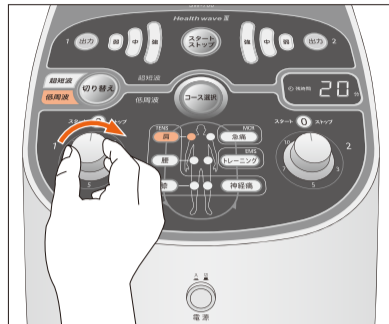
治療モード選択スイッチを押し、低周波モードを選択。低周波治療プログラム選択スイッチを押して、好みのプログラムを選択する。



5 治療を開始する

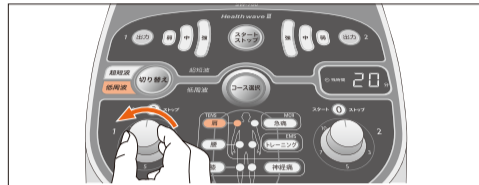
低周波出力レベル調節つまみを「0」の位置から時計まわり方向にゆっくりとまわし、気持ちの良い強さに設定する。

※(低周波出力レベル調節つまみについて)低周波出力レベル調節つまみが「0」の位置にない場合は、ゼロスタート表示が点滅してブザーが鳴り、出力されないようになっています。低周波出力レベル調節つまみを「0」の位置に戻し、ゼロスタート表示が消灯したことを確認してからつまみをゆっくりと時計まわり方向にまわし、出力を上げてください。



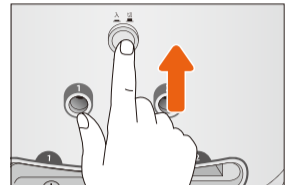
6 治療を中断する場合

治療を中断する場合は、低周波出力レベル調節つまみを「0」の位置に戻す。



7 治療の終了

治療が終了すると治療タイマー表示が「0」を表示し、ブザー音が鳴り、出力が自動的に切れる。同時にゼロスタート表示が点滅する。治療を引き続き行う場合は「プログラムを選択する」に戻り、終了する場合は、電源スイッチを押して電源を切る。



低周波治療の基本的な使用例

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

肩・腰・膝・神経痛 身体の疲労回復

TENS(テンズ)
Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation (経皮的神経電気刺激)の略。

身体を心地よく刺激し、リラックスさせる効果があります。

ちょっとした運動でも筋肉の疲れや痛みが...

○出力の目安 / 気持ち良いと感じる強さ
○治療時間 / 20分
○1日の治療回数 / 1~2回

トレーニング どこでも手軽に筋肉ケア

EMS(イーエムエス)
Electrical Muscle Stimulation (電気筋肉刺激)の略。

筋肉を実際の運動のように刺激し、身体の気になる部分の筋肉トレーニングに効果を発揮します。

運動不足! 最近お腹周りが...

○出力の目安 / がまんできる範囲の強さ
○治療時間 / 20分
○1日の治療回数 / 1~3回

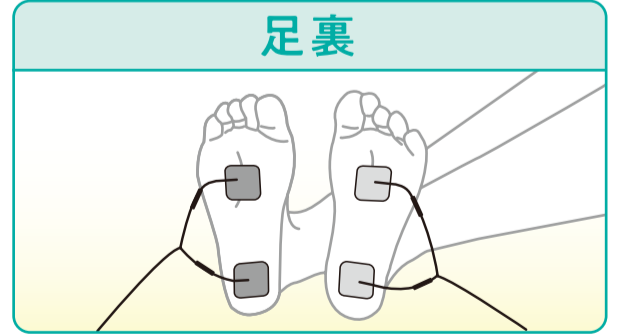
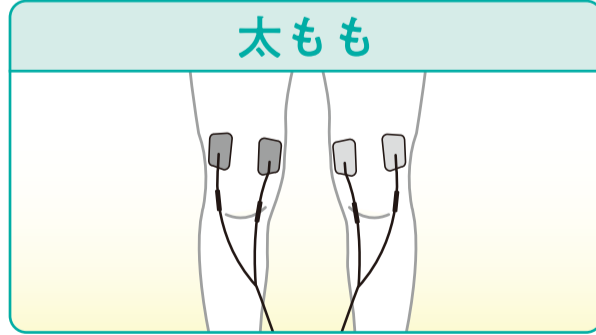
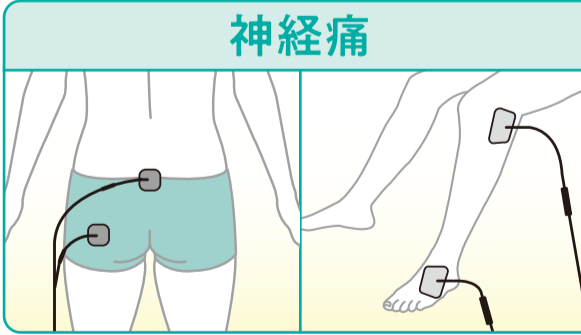
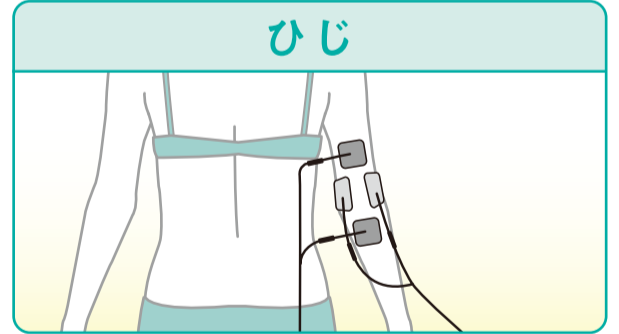
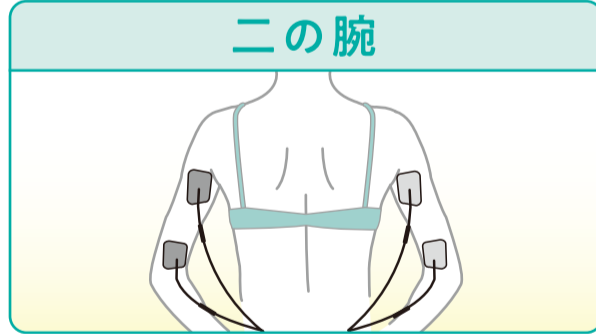
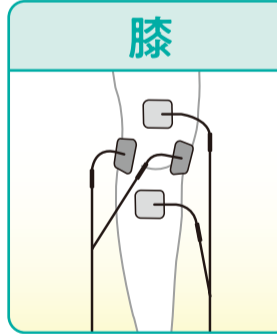
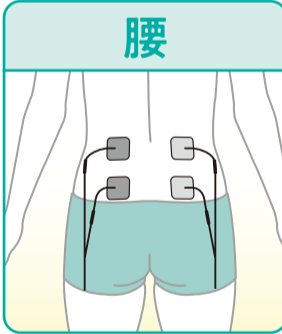
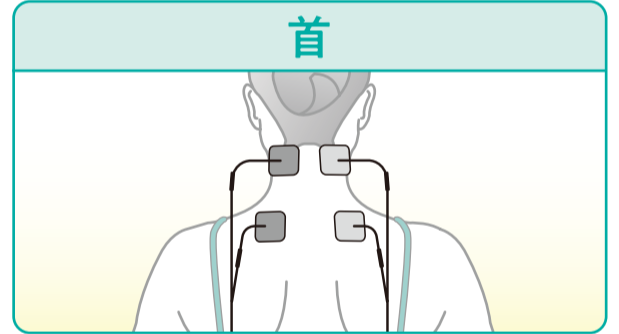
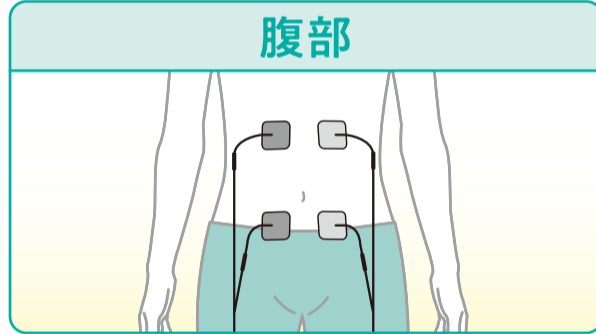
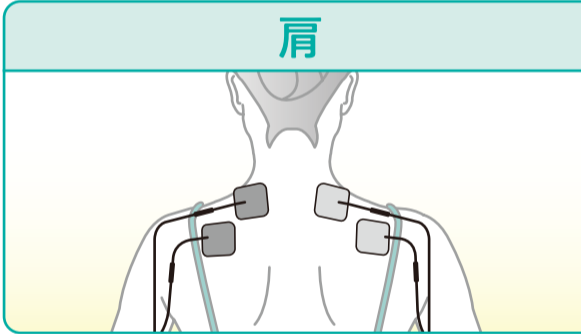
急痛 痛みや疲れをやわらげる

MCR(エムシーアール)
Microcurrent (微弱電流)の略。

運動していると身体のおちごちに痛みが...

人間の身体にある弱い電流に良く似た微弱電流を使用し、筋肉や関節のトリートメントにも効果があります。

○出力の目安 / 体感ほとんどありません(出力は一定です)
○治療時間 / 60分
○1日の治療回数 / 1~2回



- 警告 粘着パッドAについて**
- 粘着パッドAは消耗品です。
 - 湿布やばんそうこう等の粘着物によりかぶれやすい方は、注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
 - 傷のある部位には使用しないでください。
 - 皮膚が荒れたり、火傷・炎症等をおこした際は直ちに使用を中止してください。
 - 粘着パッドAを使用した際に、発疹・発赤・かゆみ等が現れたときは直ちに使用を中止し、ご購入先またはお客様相談窓口にご相談ください。
 - 粘着パッドAを使用する時、金属物(ネックレス、ベルト、時計など)と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドAは互いに重ならないように貼ってください。
 - 粘着パッドAを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。場合に

- よっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、または汗や皮脂で皮膚が汚れている場合は、粘着パッドAの粘着力が低下し、付きにくくなります。皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 粘着パッドAを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドAの使用はおやめください。テープ・バンド・下着等で固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 安全に製品をご使用いただくために、製造元で品質管理を実施しております純正の粘着パッドAをご使用ください。模倣品の使用が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合等につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

美と健康の総合メーカー
株式会社 **フジ医療器**
株式会社

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

お客様相談窓口のご案内
フジ医療器フリーダイヤル
0120-027-612

受付:月曜~金曜 午前9時~午後5時30分
※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。